



スクールガード活動の充実に向けて

—学校・家庭・地域の連携による子どもの安全確保と健全育成—

山口県学校等安全連絡協議会
山口県PTA連合会
山口県教育委員会

平成22年7月

スクールガード活動とは？

平成16年・17年、登下校中の子どもが殺害されるという重大事件が全国で発生し、子どもたちを地域で見守ろうという動きが高まりました。

こうして組織された「学校安全ボランティア」の方々を「スクールガード」と呼び、本県でも、学校・家庭・地域（自治会や防犯団体等）の連携により学校や通学路で子どもたちを見守る温かい活動が広がっています。

スクールガード活動は、子どもたちが安全で健全に育つ環境を地域ぐるみでつくりあげる取組です。是非、多くの方のご参加をお願いします。

どんな活動がおこなわれているの？



【登下校の見守り活動・通学路安全点検】

多くのボランティアの方々によって、子どもたちの登下校の安全が確保されています。

私たちは「見守り隊」の方と一緒に登下校しています。「見守り隊」の人のほとんどが、地域のおじさん、おばさん。私の家の近くのおばさんも一員です。

青のベストを着ていつも優しく声をかけてくれ、私はとても感謝しています。これからも「見守り隊」の人と協力して安全に登下校したいです。（小6女子）



【学校内の安全点検・巡視】

新たな視点から点検することで、危険箇所を発見できます。見守り活動と連動した取組として、校内の巡視を日々実践している例もあります。



【子どもとの交流】

対面式や学校での交流会・地域行事等を通じて、子どもとの交流を深める取組が進んでいます。

【安全マップづくり】

安全マップづくりを通し、子どもたちは危険予測・回避能力を身につけます。

地域住民によるマップづくりを通して地域の連携強化や活性化を図っている実践もあります。



スクールガードの方や保護者、教職員等が集まり、安全マップづくりを研修しました。

子どもの目線でフィールドワークをすることで、地域の安全について見直すよい機会でした。（保護者）

活動上の留意点は？

- 無理なく、気長に、安全第一に活動しましょう。
- 組織的に取り組み、活動を長く継続させましょう。
- 積極的に声をかけ、地域で子どもたちを守り育てましょう。
 - ・登下校時の挨拶や見守りなどを通して、子どもたちとの関係づくりをしましょう。
 - ・繁華街や夜間など、心配な場面で出会ったときも優しく声かけをしましょう。

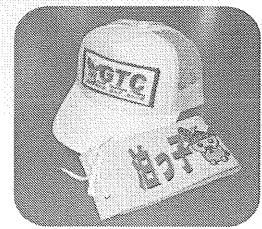
※ 「信頼できる大人」からの声かけが、健全育成の出発点です。

※ 子どもたちを「見守る」活動が、子どもたちを「育てる」活動につながります。

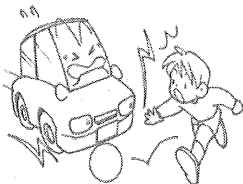
Q 活動にはどのような効果があるのですか？

A 見守り活動や防犯活動を行い、地域へ活動をアピールすることで、犯罪の抑止や交通安全意識の高まり、地域の連帯感の醸成などの効果が期待されます。

これらの効果により、子どもたちが感謝の気持ちを持って、安心して暮らすことができる環境が整えられます。



事故に遭遇したら？ 不審者や事件を見かけたら？



- 事故発生時は、子どもの安全確保を最優先しましょう。
 - ・子どもを保護するとともに、大声を出して、周囲の人に知らせ協力を求めましょう。

○ 警察等へ通報しましょう。

- ・負傷者がいれば、まず「救急車(119番)」次に「警察(110番)や学校」に通報します。
- ・不審者等の場合、無理に犯人を捕まえようとせずに、特徴を覚え、直ちに警察に通報しましょう。



※ 携帯電話に、学校や最寄りの警察の電話番号を登録しておくとう便利です。

※ 通報や活動後の報告のため、メモを持っておくとう便利です。

Q 危険などはないでしょうか？

A 反射タスキや懐中電灯等を活用するなど、安全を最優先して活動してください。

また、万一の事故に備えて、保険の加入をお勧めします。山口県PTA連合会安全互助会では、地域のボランティアの方も補償の対象となるシステムがあります。活動を開始される前に、必ずお住まいの地域の小・中学校にご確認ください。

なお、各地域の社会福祉協議会においても、少額で加入できるボランティア保険を扱っております。

★活動についてのお問い合わせは★

最寄りの小学校に御連絡をお願いします

